

ゆりかご だより



2020年6月発行 No.40



ようやく始まった新学期！静かだった町の朝にお子さんたちが元気に登園・登校する声が響くようになり、日常が戻りつつあります。病児保育室ゆりかごは新型コロナウイルス感染症拡大状況を受け休室となりご迷惑をおかけしておりましたが、5月21日より再開いたしました。お仕事の再開に備え、登録される方が増えています。これから梅雨の時期は温度・湿度ともに高くなり、体調を崩しやすくなります。健康・衛生面に気をつけて気持ち良く過ごせるようにしましょう。

お願い 病児保育室ゆりかごでは今後も慎重に対応する必要があると考え、当面の間はお預かりできる疾患・症状・また人数について制限させていただきます。詳細は、お電話にてお問い合わせください。引き続きご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解頂きますようよろしくお願いいたします。

食中毒に要注意 ～安全なお弁当づくりのポイント～



新型コロナウイルス対策に苦慮されていることと思いますが、梅雨から9月ごろまでは食中毒にも注意が必要です。ご家族が安心して食べられるように対策をしっかりと予防しましょう。ゆりかごではお預かりしたお弁当やおやつは、冷蔵庫で保管し、レンジで温めてお出ししています。

しっかり手洗い

手を拭くタオルも清潔なものを。途中スマホを触ったら再度手を洗いましょう。



お弁当箱も清潔に

パッキンを外し、すみずみまで洗って乾燥させましょう。除菌剤や熱湯消毒でより安心。



しっかり加熱

75℃で1分以上が基本です。中心部まで火が通っているか確認しましょう。



しっかり冷まして

十分に冷ましてからフタをするようにしましょう。持ち運びには保冷剤や保冷バッグを。



水筒も清潔に

パッキンを外し、洗剤で洗って乾燥させましょう。



ペットボトルの飲み残しにも注意

開けたら早めに飲みきるか、コップに移し替えて飲むようにしましょう。



いただきます！



看護師より

～溶連菌感染症とは？～

溶連菌感染症は風邪の症状とよく似ていますが、風邪のときよりも喉の痛みを強く訴えることが多いです。主な症状は発熱と喉の腫れです。他にも咳、頭痛、倦怠感や発疹が体に出たり、舌がイチゴのように赤くなることがあります。受診して溶連菌感染症と診断されると、抗菌薬による治療が必要となります。途中で薬を飲むのをやめたりすると、しっかり除菌されず、急性腎炎などの合併症を起こすことがあります。処方された薬はきちんと最後まで飲みましょう。水分をしっかりととり、食事があまりとれないときは、のどごしのよい食べ物や、お子さんの好きなもので消化のよいものなどをあげてください。抗菌薬を飲み始めてから24時間以上たって症状がおさまっていれば、登園・登校できる目安となります。



堺市訪問型病児保育センター

サポート会員が利用会員の自宅等を訪問し病気などのお子さんを保育します
病児保育施設への送迎も行います
詳しくはホームページをご覧ください
<http://yurikagonetwork.com/houmon>



病児保育室ゆりかご

開室時間 平日 8:00～18:00
〒599-8247 堺市中区東山 1042-1
電話/FAX 072-234-6880
<http://yurikagonetwork.com/hoikushitsu/>



事前登録に来られる方は、マスク・玄関での消毒・検温のご協力をよろしくお願いいたします。

